

一般質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 3年 6月 8日

三島市議会議員 川原 章寛 様

三島市議会議員 15番 岡田 美喜子



質問事項 1	リカレント教育の推進について
具体的内容	人生100年時代や技術革新の進展等を見据えて、誰もがいくつになってもチャレンジできる社会の構築が求められています。リカレント教育は、学校教育を終えた人が再び学ぶこと「学び直し」を指し、三島市の令和3年度施政方針にも掲げられるほど重要度の高い施策であると理解しています。リカレント教育が推進される背景には、技術の革新や働き方改革に伴い、求められるスキルや技術が急速に進歩しスキルアップが求められてきたことや定年後も働きたいと考える人が増え労働期間の延長に対応していく必要があること、企業などの競争力向上などがあります。この課題に三島市はどのように取り組んでいくのか伺います。
	1. リカレント教育の構築に対する三島市のメリットと必要性について
	2. リカレント教育推進に向けた取り組みについて
	3. 学習基盤の整備と専門人材の育成について
	4. 支援制度の創設について
質問事項 2	子育て世代の外出支援について
具体的内容	総務省の住民基本台帳人口移動報告による調査で、転入者から転出者を引いた2020年の転入超過数は、三島市が県内1位であったことが分かりました。三島市では30～40代の転入者が多く、同時に子ども世代の0歳～4歳も増加しているとのことです。行政はもとより、市民のみなさまの郷土愛や企業・団体等による様々な取り組み、まちづくりへの熱い思い等に対する評価であると思います。今後も、若い世帯に選ばれるまちになるために、生活環境や教育環境の整備等、子どもを産み育てやすいまちづくりを進めていかなければならないと考えます。さて、子育て世帯の外出支援として平成29年2月議会で提案した「あかちゃんのへや」について、設置状況と今後の取り組みを伺います。
	1. 「あかちゃんのへや」の民間事業者の登録状況と公共施設への設置状況について
	2. 設置場所の分布状況について
	3. 駅周辺への設置はできないか。
	4. 市民や来訪者への周知方法について
質問事項 3	2050年カーボンニュートラルに対する三島市の取り組みについて
具体的内容	近年、地球温暖化により深刻な気象災害が多発し、激甚化・頻発化する災害への対応が急務となり、持続可能な社会の実現が求められています。政府は昨年10月、2050年までに温室効果ガス排出量をゼロにする「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、今年4月22日には温室効果ガスを基準年の2013年度から2030年には46%削減することが示されました。
	三島市は環境先進都市を目指し、平成29年に策定された「第2次三島市環境基本計画」【三島市地球温暖化対策地方公共団体実行計画】において温室効果ガス排出量の削減目標を策定しましたが、今年度策定された「第5次三島市総合計画」ではその目標値を修正しています。
	三島市の2050年カーボンニュートラルに対する取り組みを伺います。
	1. 脱炭素社会に向けた本市の課題と取り組みについて
	2. 再生可能エネルギーの普及状況と市民への周知について
	3. 経済と環境の好循環を図ることを目的に官民連携のワーキンググループが作れないか。